

2021 年 9 月 17 日

国立大学法人 神戸大学

## 医学部附属病院における “ウイルスフリー空調システム”の実証実験について

医学部附属病院では、産官学連携本部、工学研究科および医学研究科の研究チームにより開発された“ウイルスフリー空調システム”の実証実験を開始します。

“ウイルスフリー空調システム”は、ウイルス対策と省エネルギーを両立する空間創りを目指した技術であり、本実証実験により、より安心して利用できる空間の提供と脱炭素社会の実現への貢献を目指します。

### ウイルスフリー空調システムの概要

<p><b>INNOVATION</b> <b>AIスマート空調システム</b></p> <p>高度な空間状態センシングで、人がいる場所に <b>省エネで快適な風を運ぶ空調技術</b></p> <p>産官学連携本部 ※環境省委託実証事業で開発</p>	<p><b>INNOVATION</b> <b>ウイルスフリーエアシステム</b></p> <p>ウイルス感染リスクの時空間分布に合わせて <b>除菌能力を持つ空気を運ぶ技術</b></p> <p>産官学連携本部 工学研究科 医学研究科</p>
<p>神大発テクノロジーの融合による <b>ウイルスフリー空調システム</b> <b>ウイルス対策と省エネを両立する快適な空間創り</b></p> <p>※環境省委託実証事業の下、関西国際空港第2ターミナルでウイルス対策と省エネ空調の高度な連携を実証実験中。</p>	

### 実証実験の内容

・実証実験場所

附属病院外来診療棟の正面玄関（風除室）および待合ロビー



※若干の変更が生じる場合があります。

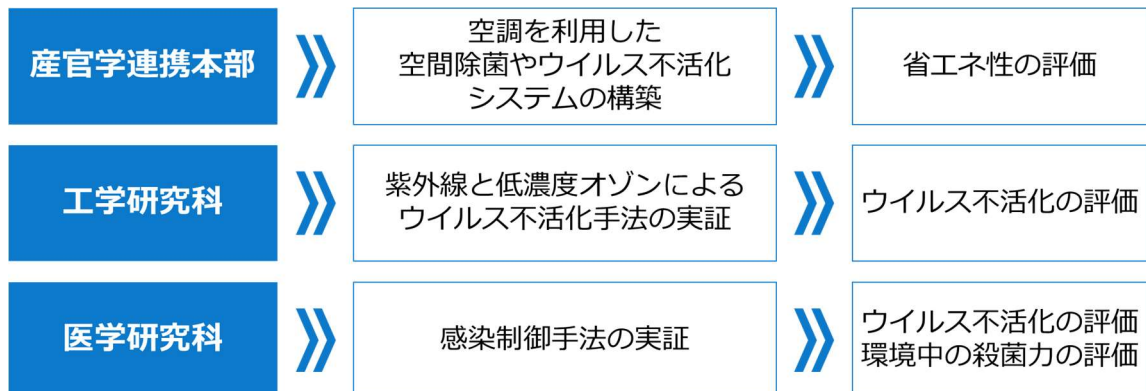
・実証実験期間

2021 年 10 月～2022 年 2 月（予定）

※環境省/革新的な省 CO2 型感染症対策技術等の実用化加速のための実証事業『空港等における感染リスク見える化と殺菌性能を付与した高度スマート空調技術開発・実証』における、実験データ収集としての位置づけ。

・実証実験内容

空調を利用した空間除菌（ウイルス不活化）システムを構築し、紫外線と低濃度オゾンによる殺菌手法の実証と感染制御手法の実証を通じて、省エネ性・殺菌性・人体への安全性を評価。



・実証システム（イメージ）

本実証の主たる対象範囲となる待合ロビーでは、マルチダクト内にウイルス除去ユニットを内蔵することで、空間空気の除菌を図る。

※マルチダクトは、床面付近や天井付近に滞留する空調空気を再利用する省エネシステムとして産官学連携本部により開発。多様な空間へ短期間・省コストで設置可能で、既存空調系統と連動した運転の他、多機能化が可能で拡張性が高い。

